

茨曾根小C・S通信

第4回学校運営協議会報告



2月17日 茨曾根小学校音楽室にて

【次第】

- 1 後期学校評価 田巻教頭
- 2 地域と学校パートナーシップ事業
田巻教頭、地域教育コーディネーター
- 3 『協働』3つの提案 細河委員
- 4 令和3年度学校教育ビジョン 平山校長
- 5 閉会挨拶 栗田副会長

令和3年度 茨曾根小学校 教育ビジョン

教育目標 **学ぶ 思いやる きたえる** 白南中学校区 目指す子ども像 **自分で考え自ら行動する生徒**

登校が待ち遠しい学校 (令和2年度) 学校は楽しい…95.9% 子どもを通わせたい学校 学校は保護者や地域と連携している…98.6% 出勤が楽しい学校 楽しい事ができた…95%

対話を通して考えを広げ深める子 認め合い支え合う子 めあてに向かって運動する子

質の高い学習課題 1日1回以上の設定 **協働の学び** 必然性のある話し合い

ピア・サポート 子ども同士の支え合い **たけのこ班活動** 異学年交流 **特別支援教育の充実** 新設「よつば学級」を全校で実施

体力づくり 明確な目標の設定 **早寝早起き朝ごはん** 家庭との連携

【重点目標】自己肯定感を育み自信をもたせる **4つの宝** 挨拶 掃除 歌声 読書 認め合い、助け合い、高め合う 温かい授業・学級づくり

新潟市コミュニティ・スクールモデル校「地域とともにある学校」
茨曾根地区に愛着と誇りを抱き 将来の地域発展の担い手となる子どもの育成
茨曾根地区自治会長会・コミュニティ茨曾根・茨曾根応援団・PTA
青少年健全育成会・交通安全推進協議会・公民館・白根そよ風保育園・白根南児童館

令和3年度教育ビジョンが承認されました

13名中12名の委員の参加を得て、上記の内容で予定の90分を超えて熱心な協議が行われました。ここでは、今回承認された次年度教育ビジョンの骨子と、それを支えるために地域総がかりで取り組む『協働』についてお知らせします。

1. 特別支援教育を中核に

特別支援教育を教育ビジョンの中央に明示し、学校運営の中核とし、認め合い、助け合い、高め合う、温かい学校づくりを推進する。そして、4月から新設される特別支援学級を全校児童と全職員で支えていく。

2. 『自己肯定感』を地域で

子ども同士が支え合う「ピア・サポート」活動、職員の日常の声かけや称賛により確実に向上した。自己肯定感を高めることは、白南中学校区全体の課題でもある。今後も、保育園・中学校、さらには、地域・家庭と連携して高めていく。

3. 『4つの宝』に輝きを

代々育んできた宝にさらに磨きをかけていく。

茨曾根小学校の4つの宝 挨拶・掃除・歌声・読書

宝とは？
「簡単には手に入らない大切なもの」
→普通ではなく、特別にがんばっていること

①挨拶…登校・下校のときは、職員室の前で立ち止まって元気に挨拶しよう。
誰にでも何度でも元気に挨拶しよう。

②掃除…校舎は古くても、中はピカピカにしよう。
自立つゴミが落ちていたら拾おう。

③歌声…毎朝、朝の歌を元気に歌おう。
大きな声・きれいな声で歌おう

④読書…毎朝、朝読書で物語の本を読もう。
卒業までに、好きな本をたくさん読もう。

第1回からオブザーバーとして参加くださっている南区教育支援センターの宮崎指導主事(元白根第一中学校校長)から、「茨曾根の子どもたちは当時の一中の心でした」との評をいただいた。

4. 『協働』3つの提案

※本提案は、学区内の3小学校運営協議会にもあわせて行われた。

- (1) PTAで「GIGAホーム」
新年度から本格実施される「新潟市GIGAスクール構想」を保護者が家庭から応援する。
例えば「親子タブレット学習会」「情報モラル研修」といったテーマで学年行事や保護

者を開くなど。

(2) 地域課題を総合的な学習の時間に地域が取り組む課題を「福祉学習」に取り入れる。

- ・「地域福祉アクションプラン」
- ・「支え合いのしくみづくり」
- ・「高齢者ケア」
- ・「防災と地域福祉」など

(3) 『自己肯定感』を地域でも
今年度はその多くが実施できなかった数々の地域行事・活動だったが、実施の際には、そこに子どもたちの出番をつくり、準備から後始末までその取組の姿をよく見て、今までより一層褒めて関わる。



